

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年6月2日発行

— 2016.5.23 ~ 2016.5.29 — 第21週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第18週	第19週	第20週	第21週
水痘	5 1.00	4 0.40		2 1.00	2 0.67			16 0.59	29 0.49	579	○	○	○	○
流行性耳下腺炎	4 0.80	5 0.50			4 1.33			7 0.26	20 0.34	466	○	○	○	○
百日咳									0 0.00	9				
感染性胃腸炎	55 11.00	47 4.70	39 7.80	20 10.00	14 4.67	22 4.40	2 1.00	225 8.33	424 7.19	8,291	◎	◎	◎	◎
手足口病		1 0.10						2 0.07	3 0.05	15				
伝染性紅斑	10 2	3 0.30	1 0.20	1 0.50				10 0.37	25 0.42	231				○
突発性発しん	4 0.80	11 1.10	7 1.40		2 0.67	2 0.40	2 1.00	22 0.81	50 0.85	617	○	○	○	○
ヘルパンギーナ		2 0.20							2 0.03	9				
インフルエンザ	4 0.50	2 0.13	16 2.00		5 1.00	21 2.63		7 0.16	55 0.58	27,978	◎	◎	◎	○
咽頭結膜熱		9 0.90	1 0.20	6 3.00	7 2.33	1 0.20		11 0.41	35 0.59	302				○
流行性角結膜炎		2 0.67						1 0.17	3 0.25	58				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31 6.20	48 4.80	19 3.80	5 2.50	1 0.33	46 9.20		72 2.67	222 3.76	5,116	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎	1 1.00		2 2.00				1 1.00	1 0.20	5 0.42	149				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症						2 0.40			2 0.03	260				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	11				
拡張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	2		3			2						
	川崎病							1						
	不明発疹症							3						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
○: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性2名、女性1名

大崎管内 男性1名、女性2名

仙台管内 男性4名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

仙台管内 男性1名

腸管出血性大腸菌感染症(OUT)

大崎管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性1名

5類感染症: 後天性免疫不全症候群

仙台管内 男性1名

侵襲性肺炎球菌感染症

仙台管内 男性2名

梅毒

仙台管内 女性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌感染症]

石巻管内で警報継続中

[伝染性紅斑]

仙南管内で警報値を超えた

[咽頭結膜熱]

栗原管内で警報値を超えた

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

病原体の検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第18週採取分 (5.2~5.8)	第19週採取分 (5.9~5.15)	第20週採取分 (5.16~5.22)
インフルエンザウイルスA(H3)型	1件	0件	0件
インフルエンザウイルスB型(山形系統)	1件	0件	0件
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	0件
ライノウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	0件	1件

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ベロ毒素を産生する大腸菌(腸管出血性大腸菌)感染により発症し、一般的に腹痛、水溶性下痢及び血便などを引き起こす感染症です。小児、高齢者や抵抗力が落ちている人等が感染すると、おう吐や高熱、溶血性貧血や急性腎不全をきたし、溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こし、死に至る例もあります。

県内では今週2例の患者報告がありました。通常、夏場に流行がみられることから、今後の動向に注意が必要です。加熱不足の食肉からの感染の他、ヒトからヒトへの感染の報告も多くみられます。気温が高い季節となりますので、食品の取り扱いに注意するとともに、手洗いの励行など一般的な予防対策にも留意願います。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kanssen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

